

# メンテナンスブック(お施主様用)

(株)オリエント

## オリジナル 室内ドア

### 使用上の注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのメンテナンスブックをよく読み、正しい使用方法、使用上の注意事項をよく理解してください。このメンテナンスブックは、いつでも利用できるように大切に保管してください。

扉の開閉は、静かに行ってください。  
乱暴に扱くと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



扉の取手にぶら下がったり、扉にもたれたりしないでください。  
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



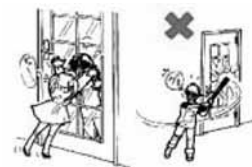
扉に指を挟まないよう、取手を持って正しく操作してください。  
特に小さなお子様には、十分ご注意ください。



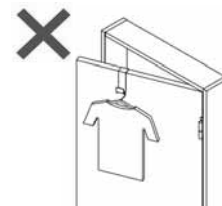
ストーブ等の熱源を近づけないでください。  
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。  
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



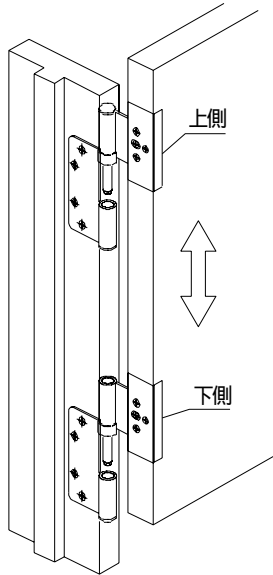
扉にフック等で、衣服や重量物を吊り下げないでください。  
扉の表面にキズが付いたり、丁番破損の原因となります。



## 扉の吊り込み方法

- a 扉のシャフトの位置決めが容易な時
- b 扉を吊り込む時に扉が上枠に干渉しない時

手順 扉のシャフトを枠の上下スリーブ穴の位置に合わせてそのまま落とし込みます。



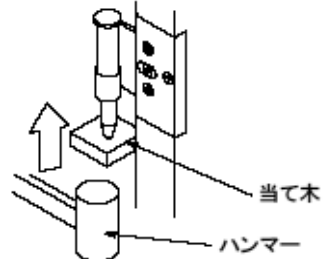
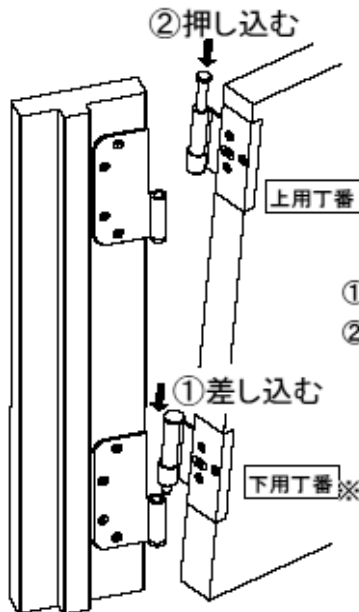
## 扉の吊り込み方法

- c 扉が重く、シャフトの位置決めが困難な時
- d 扉を吊り込む時に扉が上枠に干渉するとき。

手順

### 吊り込み方法

※扉を吊り込む前に、上用芯棒を引き上げておきます。引き上げる場合は、当て木をして、ハンマー等で軽く打ち上げてください。



- ①下側の丁番を先に枠側丁番の管に差し込む。
- ②上用芯棒を上げた状態で上用丁番を枠側丁番に引き寄せ、枠側丁番の管に位置を合わせてピンを押し込みます。(ピンの押し込みが硬い時は軽くたたいてください)

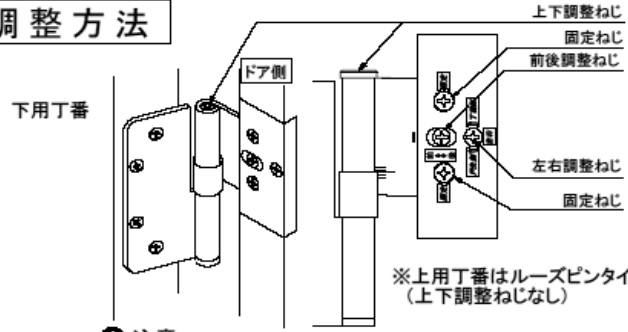
※扉を外す場合は、

上用枠側丁番の管部の下から、ドライバーを差し込み、上用芯棒を下から押し上げ、芯棒を抜きます。

(この時、芯棒は抜けきってしまいますのでご注意ください。…吊り込み易くする為)

# 3次元調整丁番

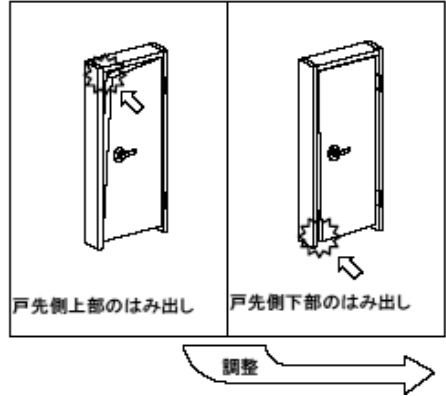
## 調整方法



① 注意 ※電動ドライバーは、使用しないで下さい。調整ねじが破損する恐れがあります。

本図は、右吊り元用(R仕様)を示す。  
左吊り元用(L仕様)については、左右対称とする。

### 前後調整方向



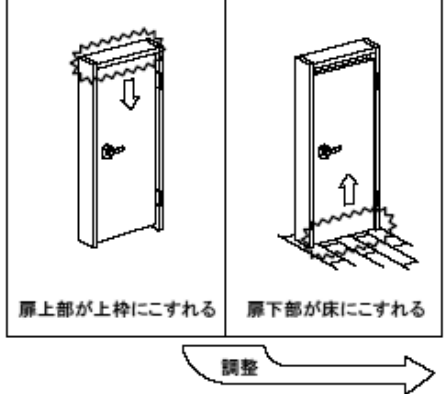
#### 前後調整方法

※扉上部がはみ出す場合は、上丁番  
扉下部がはみ出す場合は、下丁番  
にて調整を行ってください。

- ① 固定ねじを緩める
- ② 前後調整ねじを回す。  
寄せたい方向になるまで、  
回してください。  
※前後調整ねじは、  
エンドレスに回転します。  
戸当たり側に移動 (2mm)  
持ち出し側に移動 (2mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。  
扉が脱落する可能性があります。

### 上下調整方向



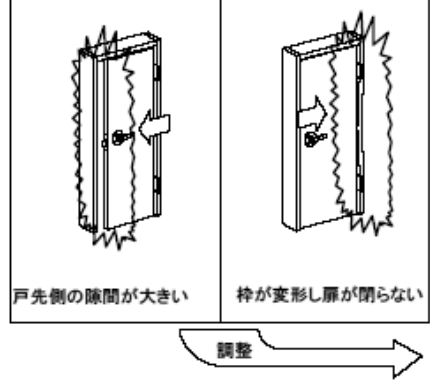
#### 上下調整方法

※下丁番にて調整を行ってください。

- ① 樹脂キャップを外す。
- ② 上下調整ねじを回す。  
右に回す  
・・・上に移動 (2mm)  
左に回す  
・・・下に移動 (2mm)
- ③ 調整後、樹脂キャップを付ける。

※扉が重すぎると持ち上がらず、  
ビットが潰れる恐れがあります。  
ネジが回らない時は、扉を持ち上げて  
調整するようにしてください。

### 左右調整方向



#### 左右調整方法

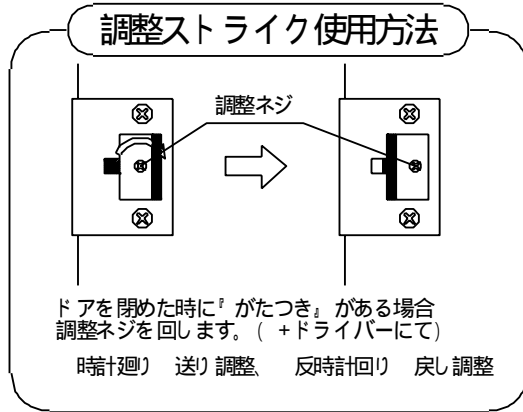
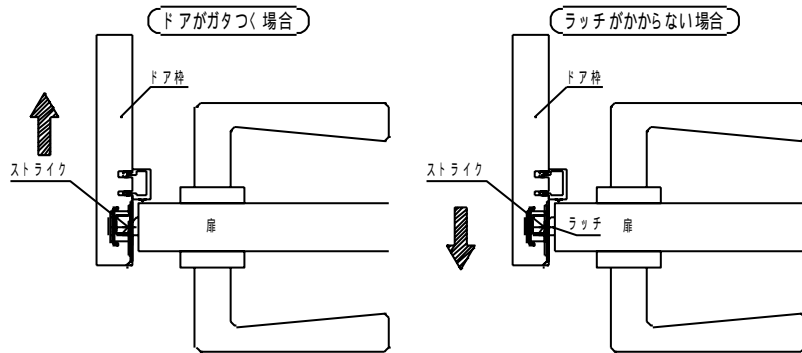
※戸先側の隙間が大きい場合は、  
扉が閉まらない場合は、まず、上・下丁番  
にて調整を行ってください。

- ① 固定ねじを緩める。
- ② 左右調整ねじを回す。  
右に回す  
.....戸先側に移動 (3mm)  
左に回す  
.....吊元側に移動 (0.5mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。  
扉が脱落する可能性があります。

## ストライクの調整方法

扉ががたついたり、ラッチが掛かりにくい場合は、プラスドライバーでストライクを調整してください。(調整可能範囲4mm)



## お手入れの方法

扉や枠の清掃は、乾拭きまたは中性洗剤

を薄めて、硬く絞って拭いてください。

シンナー・ベンジン等を使用すると、

表面の艶が変わったり、変色して

しまいますので、使用しないでください。

また、採光部の樹脂プレートは溶剤

(シンナー・ベンジン)に侵されやすい

為、使用しないでください。

**○** 使える洗剤・道具



**×** 使えない洗剤・道具



# メンテナンスブック(お施主様用)

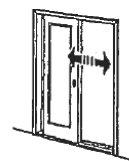
(株)オリエント

## オリジナル 室内引戸

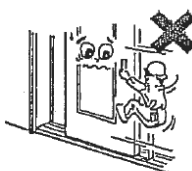
### ⚠ 使用上の注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのメンテナンスブックをよく読み、正しい使用方法、使用上の注意事項をよく理解してください。このメンテナンスブックは、いつでも利用できるように大切に保管してください。

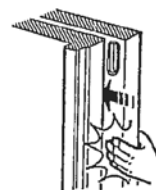
扉の開閉は、静かに行ってください。  
乱暴に扱くと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。  
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



扉と枠の間や、扉どうしの際間に指を挟まないよう、  
注意してください。  
特に小さなお子様には、十分ご注意ください。



ストーブ等の熱源を近づけないでください。  
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

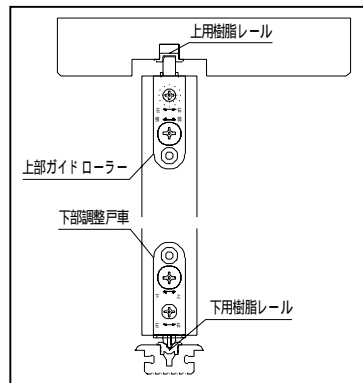


ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。  
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



## 扉の吊り込み方法

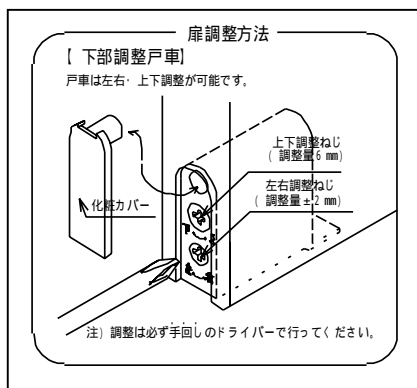
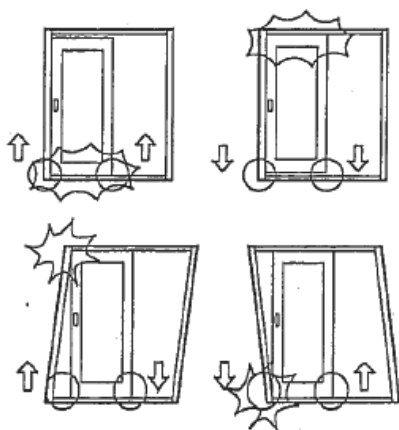
扉上部の上ガイドローラーを上用樹脂レールの溝に合わせ、扉を上げながら下戸車を下用樹脂レールの溝にセットして下さい。



## 扉の調整方法

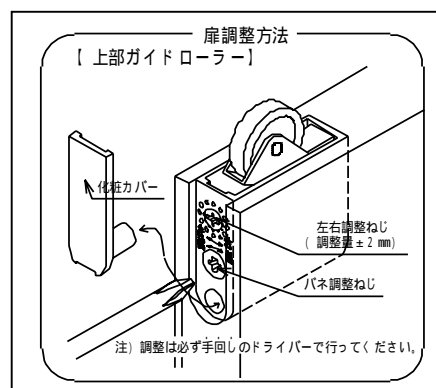
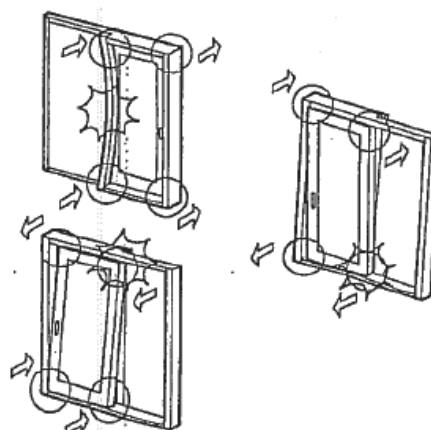
### 上下調整 (調整可能範囲: 6 mm)

下図のような状態の場合、印のついた箇所の下戸車及び上部ガイドローラーを矢印: の方向に調整してください。



### 左右調整 (調整可能範囲: 4 mm)

下図のような状態の場合、印のついた箇所の下戸車及び上部ガイドローラーを矢印: の方向に調整してください。



扉のキャッチ力が強すぎたり、弱すぎたりした場合、バネ調整ネジで調整してください。

## お手入れの方法

扉や枠の清掃は、乾拭きまたは中性洗剤

を薄めて、硬く絞って拭いてください。

シンナー・ベンジン等を使用すると、

表面の艶が変わったり、変色して

しまいますので、使用しないでください。

また、採光部の樹脂プレートは溶剤

(シンナー・ベンジン)に侵されやすい

為、使用しないでください。

○ 使える洗剤・道具

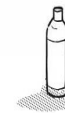


台所用  
中性洗剤



柔らかい布

× 使えない洗剤・道具



酸性・アルカリ性・  
塩素系洗剤



研磨剤入り洗剤



シンナー・  
ベンジン



研磨剤入り  
スポンジ



たわし

下レールの溝は、いつも掃除機でゴミ、ホコリ

を吸い取ってください。ゴミがつまっていると

扉の走行障害になり、異音が発生したり

レールの破損の原因となります。

